

令和元年度 前期 学校自己評価のお知らせ

保護者の皆様へ

これは、1学期に行った「学校自己評価」の結果です。学校自己評価とは、教職員自身が、学校教育目標の達成状況や教育活動の実施状況进行评估するものです。その際、評価の客観性を増すために、「児童アンケート」や「保護者アンケート」の結果も参考にします。「教職員の自己評価」と「児童アンケート」、そして、「保護者アンケート」の結果と考察を掲載しています。これらの評価の結果を踏まえて、学校改善に向けた2学期の教育活動を進めていきます。

お時間がある時によくお読みいただき、本校の教育活動に対して御理解いただきますと共に、今後も御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

糸島市立東風小学校
校長 石硯 昭雄



糸島市立東風小学校

児童・教師評価の結果と考察(前期)

【評価方法】 4段階 [4:よくできている 3:ほぼできている 2:やや不十分 1:できていない]
 (4; 80%以上 3; 60~79% 2; 40~59% 1; 39%以下)

重点目標における子どもの姿の評価の概要

【本年度の重点目標】

学びの中で自分のよさを発揮し、仲間とともに育つ子どもの育成

- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた子ども
- 自分で考え、友にかかわり、学びの中で自信を深める子ども
- 学習の構えや習慣を身につけた子ども

重点目標における子どもの姿

【学校満足度】

質問項目	児童
1 学校生活を楽しく過ごしている。	3. 65

【ぐんぐん育つ】意欲を持って学び、自分で考える子ども

質問項目	児童	教師
2 学習する構えができている(学習準備と姿勢等)。	3. 12	2. 73
3 話している人の方を向いて、目と心で聞いている。	3. 32	2. 55
4 じっくり考えて、自分の考えを書くことができる。	3. 42	2. 82
5 自分から進んで考えたことを発表・交流している。	3. 18	2. 76
6 宿題を毎日決められた時間きちんとしている。	3. 35	3. 13
この観点の平均	3. 28	2. 80

【にこにこ育つ】正しいこと、優しいことを進んでできる子ども

質問項目	児童	教師
7 誰にでも自分から進んで大きな声で、あいさつをしている。	3. 18	2. 48
8 やさしい言葉で友だちに話している。(チクチク言葉はわからない)	3. 38	2. 97
9 東風小のきまりを守ることができている。	3. 55	2. 82
10困っている友達や下級生にやさしくすることができる。	3. 52	3. 24
11自分のことが好きである(自分のことをよく思っている)。	3. 20	2. 97
この観点の平均	3. 37	2. 90

【すくすく育つ】健康・安全に気をつけ、体を鍛え、やりぬく子ども

質問項目	児童	教師
12友だちとさそいあって、外で元気に遊んでいる。	3. 53	3. 24
13自分の係や当番の仕事を最後までがんばっている。	3. 71	3. 13
14進んで、もくもくと時間一杯そうじをしている。	3. 53	2. 58
15自分の物は、自分できちんと管理している(靴・傘・机の中・棚等)。	3. 54	2. 72
16規則正しい生活ができている(早寝・早起き・朝ご飯)。	3. 29	2. 88
この観点の平均	3. 52	2. 91

重点目標における子どもの姿の評価の考察

〈全体考察〉

- ・どの評価項目においても、子どもの自己評価は高く、教師の評価は低いという結果になりました。このことから、子どもは、どの項目においても努力をし、自分なりに高まりを感じていると考えます。一方、教師は、「もっと高めたい。」という意識があり、低い評価になっていると考えます。今後は、目標についての具体的なイメージを子どもと教師で互いに共通理解し、さらに子どもたちが伸びるように指導・支援していきます。

〈「学校満足度」の考察〉

- ・「学校生活を楽しく過ごしている。」の質問項目は、最も高い数値を示しています。とても素晴らしいことだと思います。アンケートの中で最も大切な質問項目であると考えています。この結果から、子どもたちが学校を好きと感じ、楽しく生活していることがわかります。しかし、マイナス評価を付けている子どももいますので、個別に支援していくようにします。



〈「ぐんぐん育つ」の考察〉

- ・問2の「学習の構え」については、低い数値でした。学習用具等の忘れ物が多かったことが要因だと考えます。学校では引き続き、次の日の準備をきちんとするように指導します。御家庭でも確認して頂くと助かります。
- ・問3, 4, 5の「聞く・話す・書く」の言語活動に対する評価では、「聞く・書く」ことに関しては高い数値ですが、「話す」ことに関しては、低い数値になっています。今後は、「学び方」のモデルを提示して、めざす姿に関する具体的な基準を教師で確認し合いながら、子どもたちに示していきたいと考えます。そして、発表することのよさを実感させたいです。
- ・問6の「宿題」は、高い数値を示しています。毎日の宿題を子どもたちが努力していることがよくわかります。家庭学習の習慣化は身につけていますので、今後は、家庭学習の内容を吟味し、質の向上を図りたいと考えています。



〈「にこにこ育つ」の考察〉

- ・問7の「あいさつ」に関する評価はやや低いです。児童会であいさつ運動を行った時期はとも意識が高まりよかったですのですが、持続できませんでした。今後は、誰に対してもいつでも気持ちのよいあいさつができる子どもをめざして、学校・家庭・地域で共に協力していきましょう
- ・問9の「きまりを守る」については、高い数値でした。善悪の判断がしっかりでき、正しい行動をとることができています。さらに規範意識を高めるように努力していきます。
- ・問10の「思いやり・親切」については、高い数値になっています。特に6年生の1年生や下級生に対する関わり方は大変素晴らしいものがありました。
- ・問11の「自分のことが好き」の評価は高い数値でした。自己肯定感が高いことは、何事にも意欲的にチャレンジしていく原動力になります。さらに伸ばしていくためには、やはり周りの人からの肯定的な評価が最も大切です。学校と家庭で子どもたちのよさやがんばりに目を向け、たくさん褒めて認めていきましょう。きっと、自信を付けてくれると思います。



〈「すくすく育つ」の考察〉

- ・問12の「外遊び」については、高い数値でした。心の健康の面からも体力向上の面からも、休み時間に思い切り汗をかいて遊ぶことは、とても大事なことです。リフレッシュすることで、学習面にもいい影響があります。今後も外遊びを推奨していきます。
- ・問13の「係当番の仕事」の項目は、高い数値でした。子どもたちは、自分の仕事はしっかりとやっていると感じています。立派です。
- ・問14の「掃除」に関しては、高い数値でした。教師が子どもと一緒に毎日、きちんと掃除をしたことが、効果的であったと考えます。今後も継続していきます。
- ・問16の「規則正しい生活」については、若干低い数値でした。子どもたちが学校生活を充実させるためには、早寝・早起き・朝ご飯の基本的な生活習慣が必要です。御協力、お願いします。

保護者評価(アンケート)の結果について

1 実施期間 令和元年7月1日(月)から7月8日(月)

2 配付数 604

3 回答数 554 (回収率91.7%)

 : 4 評価  : 3 評価  : 2 評価  : 1 評価

項目	お子様の姿・学校の姿		評価
I 学校満足度	1	お子様は、学校生活を楽しんでいますか。	3.68 
II 家庭での様子から、めざす子ども像の達成度	2	お子様は、ご家庭で自分から進んで学習していますか。	3.15 
	3	お子様は、相手の気持ちを考えながら、友だちと仲良く遊んでいますか。	3.34 
	4	お子様は、地域や家庭で、気持ちのよい挨拶ができていますか。	3.06 
	5	お子様は、基本的な生活習慣(早寝・早起き・朝ご飯等)が身についていますか。	3.31 
	6	お子様は、家の仕事や学習を、最後まであきらめずにやり通すことができますか。	3.19 

I 学校満足度

この項目は、大変高い評価になっています。子どもたちが学校生活を楽しく送っていることにうれしく思います。今後も誰もが安全に楽しく学校生活を送れるように努力します。

II めざす子ども像の達成度

どの項目もある程度は高い数値であると考えます。これは、1学期の様々な取組を通して、子どもたちが目標に向かって努力してきた成果だと考えます。しかし、「問2：学ぶ意欲」「問4：挨拶」「問6：あきらめずにやり通す」に関しては、若干マイナス評価があります。御家庭との連携・協力を大切にして、さらに高めていきたいと考えています。

: 4 評価
 : 3 評価
 : 2 評価
 : 1 評価

Ⅲ学校の教育活動の充実度	7	学校は、「わかる・できる・楽しい」授業づくりに取り組んでいますか。	3. 46	
	8	学校は、生命尊重や思いやりの心等、豊かな心づくりに努めていますか。	3. 49	
	9	学校は、いじめのない安心した学校・学級づくりができていますか。	3. 45	
	10	学校は、体育や食に関する指導を通して、健康づくりに取り組んでいますか。	3. 55	
	11	学校は、掃除指導や校内の環境づくりに努めていますか。	3. 41	
	12	学校は、学級通信等で、学校や子どもたちの様子を積極的に伝えていますか。	3. 59	
	13	学校は、家庭や地域と協働して子どもを育てていますか。(コミュニティ・スクール)	3. 49	
	14	学校行事(運動会等)は、子どもにとって充実した取組になっていますか。	3. 63	

Ⅲ 学校の教育活動の充実度

この質問項目では、私たち教職員がどのように教育活動を進めているのかについて聞かせて頂きました。全体的に見て、高く評価して頂いていることに感謝します。保護者の皆様の御理解があることが、私たちにとっては、とても心強く感じるものです。今後も、子どもたちの確かな学力や豊かな心、たくましい身体を育むことができるように努力すると共に、学校での様子が皆様によく伝わるように工夫していきたいと考えています。

2学期には、問7「授業づくり」と問9「人間関係づくり」を重点的に取り組み、誰もが楽しく学校生活を過ごせるように努力していきます。

今後も引き続き、子ども一人一人のよさやがんばりに目を向けた教育活動を心掛けて取り組んでいきます。今後も職員一同、努力していきたいと考えています。

アンケートの御協力、ありがとうございました！

保護者アンケート自由記述について

アンケートでは、自由記述欄を設けました。そこには、たくさんの貴重な御意見や御感想を頂きました。紙面の都合上、すべては紹介できませんが、職員でしっかりと確認し合った内容を報告させていただきます。

成果

お様が学校生活を楽しく感じていることを伝えて頂いたり、私共教師のがんばりを認めて頂いたりした御感想をもらい、大変うれしく思います。

○ 子ども一人一人を大切にしていること、丁寧な対応、教師の日々の努力への感謝

- ・いつも温かく子どもたちを見守って下さりありがとうございます。
- ・些細なことや大事に至ること等、逐一ご連絡を頂けているのでとても感謝しています。

○ 公開授業やサポーター活動など、保護者が学校と関わる機会に対する評価

- ・丸付け隊は子どもの様子を見ることもできて楽しく参加させて頂いております。
- ・公開授業やサポーター活動など、保護者が学校と関わる機会が多く、子どもの様子や学校の雰囲気を感ずることができてとても嬉しく思っています。

○ 安心メール等の学校からの情報提供に対する感謝

- ・メールでの連絡や集団登下校の判断が迅速で安心してお任せできました。子どもたちの安全を第一に考えて頂き、ありがとうございます。
- ・災害等の学校安心メールについては、いつも早めの段階でご連絡頂いてすごく助かっています。

○ 学校の畑における栽培活動に対する評価

- ・野菜作り等の取組に興味を持つようになり、家でもミニトマトを育てています。食に関心を持てるようになりよかったです。
- ・野菜を育てる取組、すごくいいと思います。是非これからも続けて下さい。

課題

● 学校のトイレが鳥の糞で汚いこと

- ・鳥の糞が落ちていて不衛生です。トイレはゆっくり使用することができないのでかわいそうです。
- ・トイレが鳥の糞だらけでそうじしても鳥が入ってきているため衛生的に良くないと思います。

→ 以前から何度も業者に入ってもらったり、職員で鳥が入らないように工夫したりしていましたが、構造上、鳥が入ってしまっていました。子どもたちに申し訳なく思います。夏休みに職員作業で、児童トイレを大掃除しました。また、鳥が入ってこないように隙間をふさいでいます。子どもたちが安心してトイレを使えるようにするために、今後も十分に気をつけます。

● あいさつがうまくできていないこと

- ・全体的に挨拶が出来ない子が多い。
- ・立哨当番をしていて思ったことです。こちらから挨拶をしてもちらっと見て挨拶をしない子どもが多い。

→ いつでも誰に対しても気持ちのよいあいさつができる子どもをめざして、学校・家庭・地域で協力して指導していくことが大切だと考えます。

● 家庭でゲームやネットの時間が長いこと

- ・家でゲームやタブレット端末などが体に及ぼす悪影響についての話をしつこく話していますが、全く聞く耳をもちません。
- ・家庭での過ごし方ですが、ゲームの時間が長すぎます。インターネットでクラスの友達と一緒に対戦しているので、他の御家庭では注意されないのか疑問です。

→ SNSの正しい利用等については、全学年で学ぶ機会をとるようにしています。また、保護者対象の研修会も実施しますので、多くの参加をお願いします。

IV 2学期の教育活動の方針と方策

1 本年度の重点目標

学びの中で自分のよさを発揮し、仲間とともに育つ子供の育成

- 基礎的・基本的な学習内容を身につけた子ども
- 自分で考え、友にかかわり、学びの中で自信を深める子ども
- 学習の構えや習慣を身につけた子ども

2 「ぐんぐん育つ」:子どもの育成に向けて

(1) 基礎・基本の確実な定着を図ります。

- ・ 学び方・学ぶ姿勢について、めざす姿を子どもと教師で互いに共有します。
- ・ 朝タイムや宿題の内容や方法を見直し、基礎学力を高めるために工夫改善します。

(2) 学力テストの結果分析を生かした授業改善を行います。

- ・ 全職員で学力テストの分析と考察を行い、子どもに付けるべき力を明らかにして、授業改善に努めます。
- ・ 活用力・課題解決能力を育む単元構成と45分間の授業を計画的・意図的に実施します。

(3) 児童の表現力を高めるように努力します。

- ・ 職員全体で行う校内研修を通して、表現力を高めるために議論したり、互いに授業観察を行ったりして、児童の表現力育成に努めます。
- ・ 授業の中で児童が表現したいという意欲を高めることができるような「問い」を考えたり、効果的な交流のさせ方を工夫したり、日々の授業づくりに努めます。

3 「にこにこ育つ」:子どもの育成に向けて

(1) 気持ちのよいあいさつができる子どもを育てます。

- ・ 児童会活動を中心に、あいさつ運動に取り組み、「いつでも・どこでも・誰にでも」気持ちよくあいさつできるように指導・支援していきます。

(2) 時と場や人に応じた適切な言葉遣いができる子どもを育てます。

- ・ 教師の言葉遣いや態度、振る舞いが子どもたちのよきモデルになるように努力します。
- ・ 道徳の時間や学級活動、児童会活動において、「言葉」について学び、実践し、「言葉」の大切さに気付かせます。

(3) いじめを許さない学級づくりに努めます。

- ・ 担任一人に任せるのではなく、より多くの職員で子どもたちを見守ることができるように努め、職員間で、学級の状況や子どもの状況を把握し、よりよくするための意見交流を活発に行います。
- ・ 縦割り活動で給食やそうじ、遊びを仕組み、共感的な人間関係づくりに努めます。

4 「すくすく育つ」:子どもの育成に向けて

(1) 「もくもくそうじ」ができる子どもを育てます。

- ・ 自ら進んで、だまって、最後まで掃除をすることを通して、自分たちの生活環境をきれいにしようとする意志、能力、態度を育てます。

(2) 子どもの体力向上に努めます。

- ・ 体力向上を図るために、「1校1取組(縄跳び運動)」や「持久走」の取組を充実させるようにします。

(3) 心身の能力を伸ばすために子どもに外遊びを進めます。

- ・ 外遊びには、「五感を刺激して脳を活性化させる」「体力が付く」「生活リズムが整う」「ルールを学ぶ機会になる」「集中力がアップする」「思考力・想像力がつく」の6つの効果があるとされています。子どもたちが楽しく遊べるように支援していきます。

「本校教育活動に関するアンケート」に御協力頂き、ありがとうございました！